

IND-3009-1704

フードマシン ギヤ

食品機械用ギヤ油

フードマシン ギヤは、FDA（米国食品医薬局）で承認された原材料のみを使用し、米国NSF（National Sanitation Foundation）H1に適合する食品機械用・合成系長寿命型ギヤ油です。

世の中の「食の安全」に対する関心が高まり、食品製造プロセスへの厳しい目が向けられています。フードマシン ギヤは食品業界の「安全」および「品質」に対する期待に応え、製造工程でのリスクを最小限に抑えることが可能です。フードマシン ギヤは、基油に化学合成油を用い最適な添加剤を配合しているため、粘度指数が高く広い温度範囲での使用が可能です。また一般の鉱油系ギヤ油に比較して優れた熱・酸化安定性を発揮します。

●特長

1. 米国NSF H1登録品

FDAが承認している原材料のみで製造されたギヤ油で、米国NSF H1登録品です。したがってフードマシンギヤは食品製造・加工業者にとって、公衆衛生上のリスクを低減させる潤滑油になります。

2. HACCP*に適合します

食品業界における原材料から加工・包装・出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題点に際し、フードマシン ギヤは、その発生を防止または減少させる管理方式に適合します。

*HACCP : Hazard Analysis Critical Control Point

（食品の衛生管理システムの国際基準）

3. ロングライフ性を有しています

フードマシン ギヤは、基油に化学合成油を用い最適な添加剤を配合しているため、一般の鉱油系ギヤ油に比較して、熱・酸化安定性に優れています。また長期間安定した性能を持続するため、油管理の低減に貢献します。

4. 低温性能および粘度特性に優れています

低温流動性に優れるため、低温時における設備装置の始動がスムーズです。また、寒冷地域の食品工場、あるいは、頻繁に運転・停止を繰り返す装置を使用する際、暖気運転が短時間となるため、効率的であるとともに省電力効果が期待できます。

●種類

フードマシン ギヤは4種類の粘度番手をそろえていますので、使用条件に適した粘度のものを選択できます。

●用途

食品関連の製造装置、粉碎装置など、密閉歯車

●荷姿

200lドラム、20lペール、4l缶(VG150, VG220)

●フードマシン ギヤの代表性状

| 種類 (粘度グレード) | 150 | 220 | 320 | 460 |
|-------------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 色 (ASTM) | L0.5 | L0.5 | L0.5 | L0.5 |
| 密度 (15°C) | 0.844 | 0.848 | 0.849 | 0.853 |
| 動粘度 (40°C) mm ² /s | 150 | 217 | 322 | 451 |
| (100°C) mm ² /s | 18.9 | 27.3 | 39.3 | 51.8 |
| 粘度指数 | 143 | 162 | 174 | 179 |
| 引火点 (COC) °C | 272 | 272 | 278 | 282 |
| 酸価 mgKOH/g | 0.27 | 0.27 | 0.27 | 0.27 |
| 流動点 °C | -42.5 | -42.5 | -42.5 | -42.5 |
| さび止め性 (蒸留水, 60°C, 24h) | さびなし | さびなし | さびなし | さびなし |
| 銅板腐食 (100°C, 3h) | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 消防法危険物分類 | 第4石油類 | | | |

※代表性状値は、商品の改定等により、予告せずに変更される場合があります。(2015年8月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

| | |
|------------|--|
| 成分： | 潤滑油基油、潤滑油添加剤 |
| 絵表示： | なし |
| 注意喚起語： | なし |
| 危険有害性情報： | なし |
| 注意書き： 安全対策 | <ul style="list-style-type: none"> ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 ・保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 ・眼に入れないこと。飲み込まないこと。 ・取り扱い後はよく手を洗うこと。 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 |
| 応急措置 | <ul style="list-style-type: none"> ・飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 ・眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 ・皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。 |
| 保管 | <ul style="list-style-type: none"> ・直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 ・一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。 |
| 廃棄 | <ul style="list-style-type: none"> ・内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。 ・不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。 |